

平成20年度当初予算 施策別概要

131 文化にふれ親しむことができる環境づくり

(主担当部：生活・文化部)

- 13101 文化芸術の裾野の拡大と頂点の伸長
(生活・文化部)
- 13102 歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用
(教育委員会)
- 13103 埋蔵文化財の保存・継承・活用(教育委員会)
- 13104 文化芸術を通じた他地域、他分野との連携・交流と発信
(生活・文化部)
- 13105 文化芸術活動支援のための体制整備
(生活・文化部)

< 施策の目的 >

(対象) 県民が

(意図) 多様な文化芸術にふれ親しみ、地域の歴史や文化を大切にしている

< 施策の数値目標 >

施策目標項目(主指標)		H18年度	H19年度	H20年度	H22年度
音楽、美術などのさまざまな芸術や文化と直接ふれ親しめる機会が多いことに対する満足度	目標値	-	18.2%	18.5%	19.0%
	実績値	17.9%			

一万人アンケートにおいて、音楽、美術などのさまざまな芸術や文化と直接ふれ親しめる機会が多いことに対して、「満足」、「どちらかといえば満足」と回答した人の割合

県の取組目標項目(副指標)		H18年度	H19年度	H20年度	H22年度
三重県総合文化センター利用者数	目標値	-	650,000人以上	650,000人以上	650,000人以上
	実績値	666,002人	650,000人		
「活かそう地域文化提案事業」参加者数	目標値	-	12,430人	13,530人	15,000人
	実績値	9,516人	12,000人		
文化芸術情報アクセス件数	目標値	-	17,300件/月	17,800件/月	18,800件/月
	実績値	16,749件/月	11,200件/月		

< 進捗状況(現状と課題) >

- ・ 社会の成熟化に伴い、人びとの価値観は、生活の質や一人ひとりの生き方、くらしの中のしあわせ感をより大切にし、癒しや心の充実感の追求、歴史・伝統、自然、文化芸術を重視する方向に変化してきています。このような社会の状況や変化に対応し、県民が芸術や文化にふれ親しむことで、感性を磨き生活の質を高めることができる環境づくりをさらに進めていく必要があります。

- ・ その環境づくりの一つとして、県民の文化芸術活動をサポートするための文化振興拠点の機能充実が求められており、平成 19 年度においては、新博物館のあり方を含めた「三重の文化振興方針」の検討を行っています。
- ・ 文化財や風習などを長年にわたって保存・継承してきた地域の力が弱体化する傾向にあることから、県民自らが文化財等を地域の誇りとして大切にしていくための支援や取組が急務となっています。

<平成 20年度の取組方向>

県民の皆さんが多様な文化芸術にふれ親しみ、また、自らが文化芸術活動の主体となれる環境づくりを推進するため、引き続き、文化芸術活動への支援、顕彰制度の運用、文化芸術の発表の場づくり等を実施します。また、平成 19 年度に検討している文化振興拠点等の機能の充実や拠点間の連携のあり方を踏まえ、新博物館の整備について検討を進めます。

国・県指定文化財の保存、修理、活用を、市町、保存団体および所有者等と協働して行うとともに、文化財を活用した地域の自主的な活動を支援します。

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」について、次世代に継承されるよう、和歌山県、奈良県および関係市町等と協働して保存と活用に努めます。

サイトミュージアム（史跡博物館）である国史跡斎宮跡について、史跡東部地区を中心に発掘調査や公有地化等の整備を進め、史跡として保存と活用を進めます。

文化芸術にかかる人材や地域資源等の情報の収集、活用等に向けた取組を進めるとともに、文化芸術を通じた他地域、他分野との連携・交流をはかり、三重の文化を広く情報発信していきます。

三重県総合文化センターを県における文化芸術の拠点施設として、質の高い文化芸術公演の実施、文化に関する人材育成、多様な文化芸術の主体とのネットワークの構築、アウトリーチ活動による県民の文化芸術活動の支援などの取組を進めます。

<主な事業>

文化にふれる機会提供事業【基本事業名：13101 文化芸術の裾野の拡大と頂点の伸長】

（第 2 款 総務費 第 6 項 生活文化費 3 文化振興費）

予算額： 16,260 千円 16,245 千円

事業概要：県民が多様な文化にふれ親しみ、文化芸術活動に参画・参加できるとともに、それぞれの文化芸術性を高めていけるよう「みえ文化芸術祭」を開催します。

（指定管理者委託事業）

また、県施設等を利用して県内の芸術家・作家等に作品の展示スペースを提供することで、文化に関心のある県民に対して三重の芸術・文化にふれる機会を提供します。

新県立博物館整備検討事業【基本事業名：13101 文化芸術の裾野の拡大と頂点の伸長】

（第 2 款 総務費 第 6 項 生活文化費 3 文化振興費）

予算額： 4,805 千円 44,996 千円

事業概要：全県的・総合的な視野から三重県の過去・現在・未来を見据え、三重県の自然と歴史・文化に関する資料や情報などの資産を保存し、次代に継承するとともに、県民の自己実現や地域課題の解決などのために幅広く活用できる中核拠点としての新博物館整備のための取組を進めます。（「新県立博物館基本計画」の策定等）

活かそう地域文化提案事業【基本事業名：13102 歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用】
(第10款 教育費 第6項 社会教育費 6文化財保護費)

予算額： 55,140千円 66,640千円

事業概要：指定文化財等を修復のうえ公開・活用する取組に対して支援することにより、多様な主体が連携して文化財を保護・活用する体制の充実をはかり、文化財保護の基盤を整備します。

世界遺産熊野古道保存管理事業

【基本事業名：13102 歴史的資産等の発掘・保存・継承・活用】

(第10款 教育費 第6項 社会教育費 6文化財保護費)

予算額： 2,285千円 2,828千円

事業概要：世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」が適正に保存管理されていくよう、関係機関と連携して取り組むとともに、県民が地域の誇りとするための情報発信や学習機会の提供を市町教育委員会と協働して行います。また、地域の文化財について学術的な調査を実施し、世界遺産保護の基礎資料として整備します。

こころのふるさと斎宮づくり事業【基本事業名：13103 埋蔵文化財の保存・継承・活用】

(第2款 総務費 第6項 生活文化費 11斎宮歴史博物館費)

予算額： 42,597千円 45,629千円

事業概要：「中院」推定地の整備を目指し、国史跡斎宮跡東部の発掘調査を平成21年度まで実施するとともに、調査指導委員会や史跡整備活用検討会を開催します。また、発掘調査成果の最新情報を来訪者に発信するための発掘調査ガイドを引き続き育成します。

(舞)みえの文化蔵(「人・モノ」集積・発信・活用)事業

【基本事業名：13104 文化芸術を通じた他地域、他分野との連携・交流と発信】

(第2款 総務費 第6項 生活文化費 3文化振興費)

予算額： 8,093千円 7,082千円

事業概要：高等教育機関や市町と連携して、地域の歴史的・文化的資産に関する情報等の収集・蓄積を進めます。また、文化にかかる関係機関との連携を行いながら、主に子どもを対象とし、さまざまな本物の文化体験ができるプログラム(文化活動体験プログラム)をモデル的に実施するとともに、その仕組みづくりと人材育成などに取り組みます。

総合文化センター管理運営費【基本事業名：13105文化芸術活動支援のための体制整備】

(第2款 総務費 第6項 生活文化費 8総合文化センター費)

予算額： 576,167千円 581,185千円

事業概要：文化芸術の拠点施設である三重県総合文化センターの効果的・効率的な管理・運営を行い、安全・快適な施設の利用環境づくりを進めます。

(指定管理者委託事業)